

団体名	「やさしい日本語」有志の会
活動テーマ	外国籍住民のための防災教育出前授業



自然災害が多発する日本で、少しでも多くの外国籍住民に基本的な防災知識を得てもらうために防災教育活動を行っています。本年度は全 12 回、161 人の外国人に実施し、参加された外国人に助成金で購入したホイッスルを配布することもできました。この講座の特徴は、外国人を支援しているボランティアや行政、自治会の方などの方々にも参加していただき、事前に外国人が災害時に陥る状況や外国人が理解しやすい「やさしい日本語」の特徴などを聞いていただく時間を設けているところにあります。そして外国人向けには「やさしい日本語」を使い、少しでも理解していただきやすいように画像やイラストも駆使して防災の基礎知識を学んでいただきます。またグループワークでは、その地域のハザードマップの見方や避難所の位置や防災グッズの使い方などを日本人から外国人に教えていただくのですが、初めてハザードマップをじっくり読んだという日本人も多く、教える立場になって初めて防災知識の重要性や、自分が不確かな知識しか持ち合わせていないことに気づかれる方も多いんです。嬉しいことに、この防災出前講座がコミュニケーションのきっかけとなり、その後、外国人も一緒に地域の防災学習会を行ったという報告も受けています。地域の防災力の向上にもつながる、そんな防災教育活動をこれからも目指したいと思っています。

《実施した防災出前講座》

4 月福島移住女性支援ネットワーク白河日本語サロン、7 月おおい国際交流プラザ、8 月沖縄国際人材支援センター、9 月京都府総合防災訓練、9 月甲賀市国際交流協会、9 月京都 YWCA 留学生寮、9 月大阪市平林日本語交流教室、10 月福島県会津喜多方国際交流協会、10 月福岡日本語ネットワーク、11 月京都市上京区外国人女性の会パルヨン、平成 29 年 3 月京都 YWCA 留学生寮、3 月日本語教室「えき」(京都市)

団体名	「やさしい日本語」有志の会
活動テーマ	「やさしい日本語」勉強会



外国人に情報を正確に伝えるために考案された「やさしい日本語」も全国の行政や国際交流団体に活用が広がっています。本年度は4回の勉強会を下記のテーマで実施しました。第5回は「やさしい日本語」カテゴリⅡ。これまで語彙や文法に限られていたために伝えられなかった生活情報内容を伝える新しいカテゴリで、参加者には生活情報誌を作成するための「用事用語辞典」を印刷配布したほか、辞典の使い方や翻訳練習を行いました。第6回ではPCを持参していただき、有志の会で行っている防災出前講座の方法や実施ポイントをお話したほか、有志の会の使用しているパワーポイントを使って講習の練習をしていただきました。また第7回では「やさしい日本語」の翻訳を請け負っておられるNPO法人FACILの李裕美さんに講演をお願いし、ご苦労話や行政との連携についてなど、貴重なお話をたくさん伺うことができました。この回ではグループで翻訳練習も行いましたが、初めて翻訳を行った方も多かったにもかかわらず、高いレベルの出来上がりとなり、皆さんの意識の高さを感じることができました。第8回は第7回で「やさしい日本語」の基礎を学びたい、というお声を受けて実施したもので、基本となる12のルールをわかりやすくお話ししました。今年の勉強会では、遠く名古屋や広島、高知や姫路、但馬、滋賀からのご参加をいただき、「やさしい日本語」の広がりを実感することができました。有志の会とも、皆さんの意欲の高さに負けないよう、翻訳練習や、地域やフィールドを超えた交流の場として勉強会を継続し、皆さんの期待に応えていきたいと考えています。